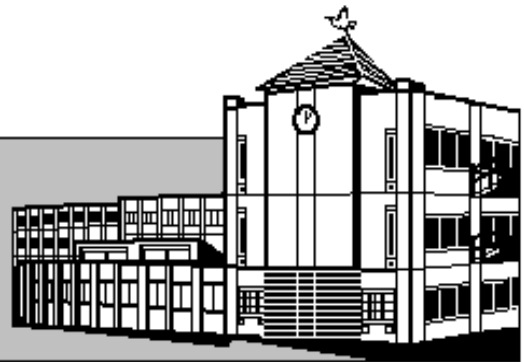


図書館だより



2002年度 第1号 (2002年7月)

編集・発行 敬和学園大学図書館

目次

英語を使って議論の練習：「例外」を表すには.....	英語英米文学科 五十嵐 海理 (1)
新着図書(英米文学特集).....	(3)
事務室より.....	図書館長 柴 沼 晶 子 (4)
夏期休暇期間のお知らせ(開館日).....	(4)

英語を使って議論の練習：「例外」を表すには

英語英米文学科専任講師 五十嵐 海理

1. 話のネタ

英語で、例外を表す表現(以下、例外表現)には、(1)のようなものがありますが、これについて深く考えたことってありますか?どれも「~を例外として」という意味だと、それだけで済ましていませんか?そんな人は、言葉に対する好奇心がちょっと足りません。英和辞典を引いてもそれより多くの情報が載っています。しかし、例えば、*except* と *except for* の違い、ということについては、記載していなかったり、記載があっても不十分だったりです。しかも、日本語だと、どちらも「~を例外として、~を除いて」になります。

(1) a. *except, but* [excepting, save]

b. *except for* [save for, with the exception of, apart from, aside from]

ところが、小西(1976)を見てみると、(2)の例があったりして、そう簡単ではないと分かります。(2b)を正しい英語に直すと、例えば(3)のようにならなければなりません。は正しい文、×は誤った文です。

(2)a. The house was deserted except for a baby in the cradle.

b. × The house was deserted except a baby in the cradle. (小西(1976))

(3) There was no one in the house except a baby in the cradle. (小西(1976))

(3)で気がつくのは、書き換えで変わっているのは、*The house was deserted* を *There was no one in the house* にしていることです。どちらも、「家には誰もいなかった」という意味なのですが、後者には *no one* という表現があることに注目してください。再び小西(1976)に沿って説明しますと、*except* と *except for* のような、似通った表現は、出現できる文脈が異なっているし、別々の修飾関係が必要とします。まとめると、(4)のようになります。

(4) a. *except* は語修飾(*except* は前の名詞と修飾関係にある)(ただし *except that* の時は文修飾) *except* は常に *every, any, no* (またはこれらを含む語), *all, each* などとともに用いられる

b. *except for* は文修飾で、通例肯定文につく。

Most がつく名詞句がある場合は、*except for* は良いが、*except* は共起しない。(小西(1976))

つまり、*except* は *every* とか *no* のような、言われていること全てについて言明を行うときに使う表現が必要だと言うことです。つまり、「すべて~だ」(=*every*)とか「すべて~でない」(=*no*)とかいう表現が要るのです。「...を例外として、すべて~だ」とか「...を例外として、全て~でな

い」とか。他方、*except for* は、もちろん、「すべて～」の場合にも用いられるのですが、実はそうでないときも用いることができます。(5)(6)は、両方とも の文です。

(5) No one, except for the famous detective, suspected the cook.

(6) Except for John, most students attended the meeting. ((5)~(6): cf. von Fintel (1993))

(5)は先ほどの *except* と同じように「...を例外として、すべて～でない」という意味です。しかし、(6)のほうは、*most* という語が入っています。「すべて」ではなく、「大部分の～」という表現です。ところが、まさにこの点が、*except* と *except for* の違いなのです。(7)に見るように、*most* が相手では、*except* は使えません。

(7) × Most students *except* John attended the meeting. (cf. von Fintel (1993))

このような *except* と *except for* の違いをどう説明しますか？

2. 先人の知恵

これについて、今は MIT にいる von Fintel という学者は、まず、この 2 語には(8)にあるように「引き算であること」が共通点であると指摘しています。その上で、これまで(1)~(7)で指摘してきたような差異が認められるのです。

(8) *except* と *except for* はどちらも引き算：

a. *except* は every, any, no (またはこれらを含む語) all, each などの「すべて」を示す集合からの引き算である (most, some など「すべて」を表さない集合からの引き算はできない)

b. *except for* は、(8a)の「すべて」を示す集合からの引き算であるほか、most などの数量詞からも引き算できるが、*some...*except for* などではない

そこで、この von Fintel センセは、*except* については、(9)のような解決法を考えたのです。

(9) *except* の表す例外は、たった一つの例外である；

except for の表す例外は、たった一つの例外でなくともよろしい

つまり、(10)のような例がありますと、(10a)では、「すべての学生は出席したけど、ジョンだけがたった一人の例外だ」ということで、(10b)も似ていますが、「すべての学生は出席したけど、ジョンは例外だ」と、たった一人の例外かどうかは保証しないのです。

(10a) Every student *except* John attended the meeting. (von Fintel (1993))

b. *Except for* John, every/most student attended the meeting.

だから、*except for* は *most* とともに一緒に現れることができる。だって、「大部分の人」はすべての人と違って、少数の人はもう例外になっているわけです。そこから *except for* で例外を引き算しても、その例外が唯一のものであるかどうかは分かりません。纏めると(11)のようになります。

(11) a. 「すべての～」から「ジョン」を引き算するなら、ジョン以外に例外はいない

b. 「大部分の～」から「ジョン」を引き算するなら、ジョン以外にも例外はいるかもしれない

ちなみに、小西(1976)や Von Fintel (1993)といった文献は、図書館から図書館の相互利用で入手できるでしょう。どちらも、敬和や新潟大学の図書館にはありません。小西(1976)は長岡技科大には置いています。世の中には Webcat という便利なものがあって、たちどころに全国の研究図書館の所蔵図書が調べられます。

3. あなたな~らどうする？

ところで、みなさんは、これで *except* と *except for* の話は片付いた、と思っているかもしれませんが、それが、そうではないのです。以前、別な学者が指摘した、(12)のような例文はどう説明しますか？

(12) a. *Except for* Harry, Dick is the best friend you ever had.

b. *Except for* myself, you are the most degenerate of men. (Hoeksema (1987))

(11)には最上級が使われています。これは何から引き算しているのでしょうか？何からの例外だと言っているのでしょうか？これまでの *except for* の例文と違い、引き算する相手の集合が何なのか、出ていません。まさか、the best friend とか the most degenerate of men は集合を表しません。そんなところから引き算できませんよ。また、この(11)との関連で、but (これは *except* と似ている)についてなのですが、(13)のような例も見えます。ここでは順序を示す last という最上級の形容詞が使われています。「最後のステップ」ってなにかの集合ですか？そんなわけないし・・・。

(13) I saw the whole summit ridge and final peak of Everest unveiled. I noticed far away on a snow slope leading up to what seemed to me to be the last step but one from the base of the final pyramid, a tiny object moving and approaching the rock step.

そう、これを英語話者は自動的に頭の中でやっているのです。だから、こういう問題は、頭の中のことを頭で考える、ということになっています。

私がたった三つの文献から考えたパズルはいかがですか？答えは、案外、簡単な発想にあるものです。皆さんも、(12)や(13)の例をどう説明するか、少し考えて見ませんか？

参考文献

Hoeksema, Jack. (1987) 'The logic of exception.' Millers, A., and J. Powers (eds.) *ESCOL'87*, 100-113.

小西友七. (1976) 『英語シノニムの語法』 研究社.

Von Fintel, Kai. (1993) 'Exceptive Constructions.' *Natural Language Semantics* 1, 123-148.



今月は、英米文学の図書を集めてみました。

吉田徹夫他『映画で楽しむイギリス文学』
 佐久間康夫『イギリス生まれの物語たち』
 横山安由美
 『中世アーサー王物語群におけるアリマタヤのヨセフ像の形成』
 十七世紀英文学会編『十七世紀英文学と自然』
 スーザン・ヒル『シェイクスピア・カントリー』
 ブラッドレー『シェイクスピアの悲劇上・下』
 久守和子『イギリス小説のヒロインたち』
 野口祐子『おしゃべりはやめられない』
 吉野昌昭編『ロマン派の空間』
 日本ジョンソン協会『十八世紀イギリス文学研究2号』
 福岡ロレンス研究会編『緑と生命の文学』
 惣谷美智子『オースティン『レイディ・スーザン』』
 平井博『オスカー・ワイルドの生涯』
 松岡光治編『ギヤスケルの文学』
 山脇百合子監修『ギヤスケル文学にみる愛の諸相』
 稲木昭子他『コンピュータの向こうのアリスの国』
 中岡洋編『シャーロット・ブロンテ論』
 松村昌家編『チャールズ・ディケンズ大いなる遺産』
 平倫子『ルイス・キャロルの図像学』
 清水義和『ドラマの世界バーナード・ショー』
 辻弘子『ダブリン市民と聖書のイメージ』
 ポール・ポブラウスキー編著『D. H. ロレンス事典』
 K. ブラウン編『D. H. ロレンス批評地図』
 R. シュハート編注『T. S. エリオット クラーク講演』
 T. S. エリオット『T. S. エリオット演劇批評選集』
 野口ゆり子『ロレンス精神の旅路』
 小泉博一『イギリス桂冠詩人』
 チョーサー『カンタベリー物語 上・中・下』
 J. ベイト『ロマン派のエコロジー』
 ミルトン『失楽園 上・下』
 村上淑郎『ハムレットの仲間たち』
 石川実『新体シェイクスピア』
 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
 ジョン・アップダイク
 『ガートルードとクロードアス』
 E. M. フォスター『老年について』
 トマス・ド・クインシー
 『トマス・ド・クインシー著作集3』
 後藤和彦『迷走の果てのトム・ソーヤー』
 G. アーリッヒ『蜘蛛の呪縛』
 吉岡栄一『亡命者ジョウゼフ・コンラッドの世界』
 フォークナー協会編『フォークナー第4号』
 N. R. カムリー他『ヘミングウェイのジェンダー』
 山田武雄『提喻詩人口バート・フロスト』
 古平隆『汝故郷に帰るなかれ』
 川邊武芳『失われた<故郷>』

安河内英光他編『60年代アメリカ小説論』
 荒このみ『アフリカン・アメリカンの文学』
 M. T. ギルモア『アメリカのロマン派文学と市場社会』
 中川法城『アメリカの自然主義小説』
 大浦暁生監修『アメリカの悲劇の現在』
 J. D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』
 メアリー・N. スタナード編『ポー若き日の手紙』
 有馬容子『マーク・トウェインコレクション20』
 本田錦一郎『思想史としての文学』
 工藤昭雄編『静かなる中心』
 吉田幸子他編『文学と女性』
 D. ロッジ『フィクションの言語』
 熊崎久子『英米の文学』
 丹羽隆昭『恐怖の自画像』
 川野美智子『現代史を告発する』
 古平隆他著『人間と世界』
 秋山健監修『アメリカの嘆き』
 風呂本惇子編『アメリカ文学とニューオーリンズ』
 早瀬博範編『アメリカ文学と狂気』
 中央大学人文科学研究所編
 『イデオロギーとアメリカン・テキスト』
 伊藤章編『ポストモダン都市ニューヨーク』
 野口健司監修『映画で楽しむアメリカ文学』
 原川恭一他編著『文学的アメリカの闘い』
 横山幸三監修『英語圏文学』
 中央英米文学会編『読み解かれる異文化』
 中央大学人文科学研究所『埋もれた風景たちの発見』
 マーク・フィッシャー『ミリオネラの秘密』
 テリー・ケイ『白い犬とワルツを』
 キャサリン・パターソン『私はだれ？』
 V. S. ナイポール『インド・新しい顔 上・下』
 Nilsen, Don L.F. *Humor in Eighteenth-and Nineteenth-Century British Literature*
 Bloom, Abigail Burnham *Nineteenth-Century British Women Writers*
 Polowetzky, Michael *Prominent Sisters*
 Johnston, Susan *Women and Domestic Experience in Victorian Political Fiction*
 Lambdin, Laura Coonre ed. *A Companion to Jane Austen Studies*
 Poplawski, Paul ed. *A Jane Austen Encyclopedia*
 Rose, Brain A. *Jekyll and Hyde Adapted*
 Mikolyzk, Thomas A. *Oscar Wilde*
 Thaden, Barbara Z. *Student Companion to Charlotte and Emily Bronte*
 Teachman, Debra *Student Companion to Jane Austen*
 Teachman, Debra *Understanding Jane Eyre*

Teachman, Debra *Understanding Pride and Prejudice*
 Clark, George ed. *J.R.R.Tolkien and His Literary Resonances*
 Flieger, Verlyn ed. *Tolkien's Legendarium*
 Klein, Kathleen Gregory *Great Women Mystery Writers*
 Demastes, William W. ed. *British Playwrights, 1880-1956*
 Caldwell, E. *All-Out on the Road to Smolensk*
 Moore, George *The Collected Works of George Moore 22Vols.*
 Malamud, Bernard *The Complete Works of Bernard Malamud 12Vols.*
 Oates, Joyce Carol *The Selected Works of Joyce Carol Oates 12Vols.*
 Gleckner, Robert ed. *The Plays of Lord Byron*
 Nowell, Elizabeth ed. *The Letters of Thomas Wolfe*
 Dryden, John *The works of John Dryden*

用されているということなので、開架方式を廃止すべきではない」という結論に達したそうである。東先生はこの決定が日本の管理主義的発想と比較して、アメリカの大学における教育サービスの基本的考え方を示していると感銘を深くされたとのことであった。

現在は大学その他の公共的図書館はほとんど開架式になっている。閉架式の不便さを体験している者にとっては開架式図書館は必要な本を確認して選ぶことができ、時間さえ許せば、夜遅くまで森閑とした書棚が林立する脇で読書に没頭する至福の時を与えられる有難い場である。

ところが先日の図書館利用に関する学内のアンケート調査では、利用時間の延長への要望は予期したほど多くなく、現在の19時までの開館でよとする回答が教員で54.8% 学生66.8%であった。図書館としては、せめて6時間目の授業の終了する20時30分までは開いて、学内外の利用者の便を図りたいと考えているが、大方はそれほどの必要を感じられないのであろうか。それとも管理上の問題から無理であろうと遠慮されているのであろうか。

夏休みの開館日のご利用を歓迎したい。



蔵書数 (2002年6月30日現在)

区分	和書	洋書	合計
図書資料	39,225	13,413	52,638
逐次刊行物(種)	102	87	189



事務室より

図書館長 柴沼 晶子

7月に入り本格的な夏の到来か気温が上昇するなか五十嵐先生の「答えは案外簡単な発想」との励ましにパズルに挑戦する。皆様はお分かりになりましたでしょうか。

前期の授業も終わり近く、試験やレポートの準備に図書館も活気づく気配。今年度から新入生のガイダンスで一人ひとりに特定の本を検索して探してきてもらうという体験学習を導入したが、その成果は挙がっているだろうか。

かつて東京大学で教育心理学を講じられていた東洋(あずま・ひろし)先生がアメリカの大学で経験された大学図書館についてのがかなり有名なエピソードがある。

先生の研究されていた大学で、教育学部の図書館が当時はまだ先進的であった開架方式を採用していたため、蔵書の紛失が目に見えたと運営会議で問題になった。開架式を閉架式に戻すべきではないかという意見も出たが、結局、「本が紛失するということはそれだけ本が読まれ、図書館が利

夏期休暇期間の開館日

	8月		9月	
1	木	9:00~17:00	日	休館
2	金	9:00~17:00	月	9:00~17:00
3	土	休館	火	9:00~17:00
4	日	休館	水	9:00~17:00
5	月	9:00~17:00	木	9:00~17:00
6	火	9:00~17:00	金	9:00~17:00
7	水	9:00~17:00	土	休館
8	木	9:00~17:00	日	休館
9	金	9:00~17:00	月	9:00~17:00
10	土	休館	火	9:00~17:00
11	日	休館	水	9:00~17:00
12	月	9:00~17:00	木	9:00~17:00
13	火	休館	金	9:00~17:00
14	水	休館	土	休館
15	木	休館	日	休館
16	金	9:00~17:00	月	休館
17	土	休館	火	9:00~17:00
18	日	休館	水	9:00~17:00
19	月	9:00~17:00	木	9:00~17:00
20	火	9:00~17:00	金	9:00~17:00
21	水	9:00~17:00	土	オープン・キャンパス
22	木	9:00~17:00	日	休館
23	金	9:00~17:00	月	休館
24	土	休館	火	9:00~17:00
25	日	休館	水	後期授業開始
26	月	9:00~17:00	木	9:00~19:00
27	火	9:00~17:00	金	9:00~19:00
28	水	9:00~17:00	土	パソコン・閲覧のみ
29	木	9:00~17:00	日	休館
30	金	9:00~17:00	月	9:00~19:00
31	土	休館		